

ロータリー理解推進月間にあたって ロータリーの歴史を学ぼう

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



1月はロータリー理解推進月間であります。会員の皆様が、より深く、ロータリーをご理解されるという月間であります。ロータリーはすでに100年の歴史があります。その歴史を学ばれるのもいいのではないのでしょうか。「ロータリーの友」や、わが地区では「ロータリーの心と実践」という資料がありますので、知識、現状や他地区の活動、世界の活動については、日ごろから目にされておられることと思います。なによりも、皆様の日常の活動こそがロータリー活動であることは、間違いのないことでもあります。

ロータリーの歴史をさかのぼり、創始者でありますポール・ハリス氏の人となりに触れることがロータリーを知る最短の方法ではないのでしょうか。

まず、ネットで「ポール・ハリス語録」で検索してみましょう。「職業奉仕の魅力」、「自分の職業を高揚することの楽しさ」について知ることが出来ます。そして、「要するに、ロータリーは、ひとりひとりの会員を育て、その奉仕能力を高めるために存在します。」と言われております。ロータリーの在り方については「ポール・ハリスの合理的ロータリズム前編・後編」を楽しんでください。「寛容の精神」につ

いて話されています。

次に「ロータリーの4つのテスト」で検索してください。4つのテストの由来を知ることができでありましょう。すこし難しいかもしれませんが「ロータリー章典」、「ロータリー財団章典」もいいでしょう。このように、皆様がロータリーの歴史を知り、ロータリーの楽しさに浸っていただければ幸いです。

また、ロータリーを一般の方々に理解していただくことも推進していただければと思います。いわゆる、公共イメージの向上であります。これについては、是非とも「ロータリーの友」を活用してください。「ロータリーの友」を知り合いの方、地域の方に配布していただければ幸いです。また、地域の方々に卓話をお願いしたり、公開例会をして、地域の方々をお呼びしたり、地域との交流を計っていただければと思います。

ぜひとも「ロータリーデー」を実施していただきたく思います。

地区では5月5日に「ロータリーフェスティバル」を行いまして、全員参加でロータリーを地域の方々に理解していただくことを推進したいと思っております。